

2023年7月1日

現勢2,726名

前月比±0名

2,695名(1/1付)

山 村 東 平 小

発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

分会特集 仲間とつながり組合を楽しく

バスレク・交流会編

春の仲間づくりお疲れさまでした。支部機関紙「小平東村山」76号でも記載した通り、月間目標を達成しました。改めてご協力・ご奮闘ありがとうございました。6月は、バスレクや交流会な

ど、分会の仲間と楽しめる企画が多くありました。美園は群馬方面へ、一ツ橋は神奈川方面へ行き、南は交流会、小川は後継者交流会を行い、各分会で盛り上がりを魅せ、交流を深めました。

美園分会

【美園・高橋成允 記】

4月23日(日)に「春の仲間づくり月間」の分会セレクトスリーの第一環として、4年ぶりに群馬方面へのグルメ・バス旅行を実施しました。中型バスをレンタルして、前回同様、ドライバーは運転技術に絶対自信ありの川合分会長が重責を担ってくれました。

ルネ小平を8時半に出発し、参加者21名が揃ったところで、分会担当の加賀谷書記から共済制度の説明が行われました。10時前には目的地の「いちご園」に到着して、食べ放題、制限時間なしということのでいちごを好

きなだけ食べました。その後の「明太子パーク」では、それぞれビールを飲んだり、明太子パスタを食べたりしました。その中でも特大明太子おにぎりはうまかったね。



イチゴ狩り農園でパシャリ

一ツ橋分会

【一ツ橋・山内勝行 記】

コロナマスク明けで早速一ツ橋分会にて。バスレクを開催しました。当初参加人数の確保にヒヤヒヤしていましたが、大型バスにて総勢35人の参加で横浜方面に行ってきました。

最初に鶴岡八幡宮に行ったのですが、コロナ明けともあって、日本人観光客や外国人観光客で



赤レンガ倉庫をバックに

かなりの賑わいを見えていました。滞在時間1時間の予定でしたが、あっという間に時間が過ぎた感じでした。お昼には横浜中華街に

南分会

【南・白石隆義 記】

6月25日(日)に東村山駅から降りてすぐの和食処「サガミ」にて、コロナもありましたが、4年ぶりに交流会を開催しました。参加者は37名

で、初めて参加した方や家族と一緒に参加した組合員さんもありました。時間になると参加者が続々と集まり、星野分会長の乾杯のあいさつで交



例年を上回る盛り上がり魅せた

流会がスタート。初対面の方も多く最初はきこちない感じがありました。が、飲みながら話していくうちに盛り上がりはピークに。若い人同士や家族ぐるみでつながりができて、楽しい交流会でした。



久しぶりで交流が深まる

小川分会

【小川・新田哲史 記】

6月24日、小川分会では後継者交流会を開催しました。場所は分会で良く利用している中国料理「長江宴」です。青梅街道駅すぐ傍なのでお酒を飲むには好立地です。

3年振りの交流会は参加者26名でいつもより多いです。そのうち半分以上は後継者世代。井上委員長挨拶で乾杯し、4



盛り上がった交流会

このコロナ禍で全く分会レクができませんでしたが、後継者世代がほとんど参加するレクを開催し、話し合える仲間を増やしたいです。

用水路

一年半前に始めた、坂東三十三観音巡礼も終わりに近づくと。最終日は、⑩番と廻り巡礼完了。▼「十観音経、魔訶般若波羅蜜多心経」を唱えて、一番目、

家内安全はまあまあである。二番目、身体健全は74歳でもあり、少しづつだが下降気味だ。三番目の東京土建の発展は、現状維持かな。高齢の役員さんのリタイアが目立つ！若手役員さんの参加を期待したい。▼一年半前に始まってしまった、ウクライナとロシアの戦争がダム破壊とエスカレートしてきてしまった。このまま第三次世界大戦に発展しないことを願ってやまない。▼坂東三十三観音巡礼も終わったので、先日、お礼参りに行って来た。まず善光寺対の寺別所温泉の北向観音と長野市の善光寺の二ヶ寺。「か所では片参り」。善光寺では「世界平和」を一番に、全世界での争い事の終了で私たちの生活がよくなることを願う。▼先日、不届きものに盗まれた「寶頭盧孫」が戻ってきていた。多くの善男善女がお参りしていた。私も頭から足先まで触りまくった。少し手も健康でいたいから？【花小金井・梅田】

インボイス学習会

課税事業者・事業主向け

日時：7月24日（月）
14：00～15：30
会場：支部事務所

免税事業者・一人親方向け

日時：7月25日（火）
19：00～20：30
会場：小平市福祉会館

※8・9月も開催予定



内野友和さんと銅板を利用した折り鶴

株式会社
ウチノ板金 主催

屋根展 in 東村山 「職人さんに日が当たるように」

6月9日（金）、東村山市民センターの一室にて、株式会社ウチノ板金主催の「屋根展 vol.151 in 東村山」が行われました。柳瀬分会に所属しているウチノ板金さんは、屋根工事や雨樋工事、雪止め工事等を行っているほか、板金を用いたクラフト製作などを行って東村山から世界で評価されています。

「元々、地元の人にお仕事を知ってもらうために展示会を始めましたが、今は全国から同業者の方々が来られるようになりました」と嬉しそうに話しました。内野友和さんは東村山生まれ、祖父の代から板金屋で、父が起業したウチノ板金の2代目だ。「うちが始めた展示会を参考に、全国で屋根展を行う鶴」だった。話を伺う

と、その一つは奈良の薬師寺の老朽化した屋根を再利用して作っているもので、まさしく古来職人と現代の職人の技術が融合した作品だ。鶴と言えは折り紙で作るものだが、お寺の屋根を使って作るというのは、すごい技術力と発想力だ、と感銘を受けた。

愛されるスポットになる予定だ。「隈さんと出会った時に、『地元のシャッター商店街を元気にしたい、職人さんの価値を高めた』という話をしたら、隈さんが『面白い！ぜひ一緒にやろう』と言って話が進みました。色々と言葉を進みましたが、色々と事業を手掛ける根底には職人さんの在り方への理念があります。」内野さんは「まず、どの業界にも言えることだけれど、若い人材がいなくて、若くは面倒を見る上の責任だと言われている、それは少しあると思う。しかし、自分が年をとったときに若い人が・・・というの少し違う。だから私は、今動ける若い人が上も下も見る。上の方には恩返しとして、屋根工事から離れても輝ける場を作りたい」と語る内野さんは今後どのようなシナリオを描いているのか、組合としても注目したい。



高い技術力だから為せる作品

オープンする『和國商店』についても話を伺った。建物のデザインはなんと隈研吾さんで、東村山市長の応援も受けている。板金土産屋とカフェを兼ねた地元にも観光客にも愛されるスポットになる予定だ。

「限さんと出会った時に、『地元のシャッター商店街を元気にしたい、職人さんの価値を高めた』という話をしたら、隈さんが『面白い！ぜひ一緒にやろう』と言って話が進みました。色々と言葉を進みましたが、色々と事業を手掛ける根底には職人さんの在り方への理念があります。」内野さんは「まず、どの業界にも言えることだけれど、若い人材がいなくて、若くは面倒を見る上の責任だと言われている、それは少しあると思う。しかし、自分が年をとったときに若い人が・・・というの少し違う。だから私は、今動ける若い人が上も下も見る。上の方には恩返しとして、屋根工事から離れても輝ける場を作りたい」と語る内野さんは今後どのようなシナリオを描いているのか、組合としても注目したい。

6月24・25日に支部事務所にて、一般建築物石綿含有調査者講習が行われました。他支部の組合員を含め17名が受講し、全員が合格しました。

今年10月以降、対象工事について「石綿調査者」の有資格者による石綿事前調査結果が増加しています。リフォーム・解体事業を行って、石綿関連

果報告が義務付けられており、それに向けて石綿調査者の資格を取得する方が増加しています。お願ひ致します。

石綿調査者講習 17名受講

支部では、石綿調査者有資格者の組織化を進めています。アスベスト関連補助金や、調査会社との共有等を行って、く予定の為、ご協力をお願い致します。

一泊で南房総へ 大盛り上がりの分会旅行

【野火止分会・書記 長・内藤俊幸】野火止分会では、2月26日（27日）に南房総へ一泊旅行を実施しました。新型コロナウイルスの影響により何もできずでしたが、3年ぶりに分会イベントを開催することができました。分会の組合員・家族20名が参加、初参加者も2名いたのは嬉しい出来事でした。初日は、はちみつ工房で昼食をとり、向かった宿泊先はホテル三日月。夕食は大宴会で食べきれないほどの海鮮料理を楽しみました。そして、野火止分会の自慢「明るく元気な主婦の会」のカラオケで大盛り上がりでした。2日目は旅行のメインである「鴨川シーワールド」へ、イルカやシャチのショーを見ることになりました。特にシャチのショーは迫力満点でありました。



楽しい分会旅行でした